

# 5. 高校生プロジェクト、今年度の取り組みの流れ

## ① 高校生プロジェクト in 岩見沢 スタート集会

5月13日（水）岩見沢広域総合福祉センター

★「第4回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト in 岩見沢」実施計画検討

△ワークショップ「みんなで提案、みんなで実行 ～ より良いプロジェクトとなるために」

### 【グループ 1】

「購入が復興支援に結び付くと考えられる商品」で販売会により適した商品となるための工夫（内容、選択など）

### 【グループ 2】

東日本大震災に関する展示「東北の今」が多くの方に見てもらえるような工夫（場所、内容等）

### 【グループ 3】

多くの人にプロジェクト、及び、販売会を知ってもらうための宣伝の工夫（内容、方法など）

### 【グループ 4】

プロジェクトの活動を支援していただくための協賛金を集めるための工夫（方法、対象など）

### 【グループ 5】

販売会でのディスプレイやプロジェクトの趣旨等がより良くなるための工夫（分かりやすさ、見やすさ等）

### 【グループ 6】

4校が、より交流し、協力し合いプロジェクトを成功させる工夫（試食会、販売会、合同会議など）



## ② プロジェクトの支援のお願い

### 第4回 復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト in 岩見沢

今年も活動支援金のご協力をお願いします。

「東北を忘れない、買って支援、売って支援」

#### 高校生プロジェクトの三つの復興支援活動

- I 東北の物産、復興支援商品を買う（仕入れる）ことで、被災地で働く人や住んでいる人などへの支援
- II 東北の物産販売の売り上げを「東日本大震災子ども支援 ユネスコ協会就学支援奨学金」として被災地の子どもに対する支援
- III 一連の活動に加え、展示「東北の今」を行うことで、被災地のことを忘れないための活動を行うことで支援

以上の活動を行っていくために

1口500円の活動支援金（協賛金）をお願いします。

復興支援 東北の物産販売高校生プロジェクト in 岩見沢

岩見沢農業高校ボランティア・ユネスコ部、岩見沢東高校ボランティア部、岩見沢緑陵高校ボランティア部、岩見沢高等養護学校生徒会執行部

4校が、それぞれの学校で候補となる商品を考え、そこから販売商品を決めます。活動の趣旨を生産者の方に伝え定価で仕入れます。同時に、生産者の思いをメッセージとして送ってもらいます。

物産販売は、各学校の学校祭と8月23日の「大和タウンプラザでの販売会」を中心に行います。販売の売り上げは、今も約3万人いるといわれている被災し就学困難な子ども達のためへの支援とします。

現在の被災地の状況が分かる写真展を行っていきます。この写真はそれぞれの学校で震災に関わる写真を提供していただけそうところを探し、そこにお願いし岩見沢市内を中心に展示会を行っていきます。

※ 上記の主旨で協賛金のお願いに4校で分担をし、市内の各事業所、団体にお問い合わせに行きました。

## ③ 販売商品、展示物の選定に当たって

#### 【販売商品】

- ① 学校単位で、販売商品に関しては被災3県を必ず含む4つ以上の候補をあげる。
- ② 各学校から提出された販売商品候補を総務が、次の観点から選定する。
  - ・価格、消費期限、取り扱いやすさ
  - ・商品の種類に偏りがないようにする。
  - ・選定商品に全ての高校の候補が含まれるようにする。

#### 【展示物】

- ① 学校単位で、展示に関しては、原発における状況を伝えるものを含む被災3県4つ以上の候補をあげる。
- ② 各学校から提出された展示物候補を展示担当が、次の観点から選定する。
  - ・今まで扱っていない自治体等
  - ・伝わりやすさ
  - ・選定に全ての高校の候補が含まれるようにする。

## ④ 試食会&各学校祭のための販売商品仕分け

7月1日（水）岩見沢広域総合福祉センター

### 【試食会】

販売商品を事前にみんなで試食し、商品の特徴やアピールポイントなどを全員で確認して販売に向け準備をしました。



### 【各学校祭のための販売商品仕分け】



## ⑤ 各校プロジェクトリーダー会議

**2015. 4. 15**

◎ 第4回の実施計画を作成するにあたって、  
前年度実施計画との主な変更点を検討

- (1) 組織形態
- (2) 販売時期、実施回数、場所
- (3) 展示内容
- (4) 協賛金をお願いする対象と実施生徒



**2015. 6. 10**

● 進行状況確認と検討事項

総務・・・選択商品の確認、生産者へ依頼電話、  
試食会について、  
7月の商品の発注数確認(各校学校祭)

展示・・・写真提供依頼電話について

庶務・・・各校協賛金依頼先と依頼方法確認  
学校内での協賛金依頼について  
新規協賛金依頼について



**2015. 7. 15**

◇ 札幌での販売について

- ・商品の輸送手段、テント・テーブル等について
- ・販売に当たっての準備する物
- ・開始時間、岩見沢での荷物の積み込み集合時間
- ・札幌での設営等



**2015. 7. 31**

▲「赤れんが庁舎前庭 復興支援 東北の物産販売会」についての確認

**2015. 8. 18**

☆「大和タウンプラザ ビックハウス岩見沢店前 販売会」についての確認

## ⑥ 各学校祭での販売会

7月中

岩見沢農業高校、岩見沢東高校、岩見沢緑陵高校、岩見沢高等養護学校

## ⑦ 札幌での販売会

8月11日（火）赤れんが庁舎前庭

### 《 目的 》

東日本大震災の発生から4年以上が経過し、当時の状況や大切にしなければならない思い、また今なお大勢の方々が様々な苦難を抱えて生活されていることが、次第に人々の記憶から薄れつつある現実があります。そのような中、これまで積み重ねてきた岩見沢市内での取り組みを、広く道民に知っていただくことも大切であると考えています。

今回のイベントを通じて道民の復興支援への関心を高めていただき、多くの方に復興支援に関わってもらいながら、岩見沢市内高校生が、復興支援のために継続し取り組んできた当プロジェクトの意義を改めて広く道民に知っていただきたいと考えています。



### 【実施状況】

豪雨のため販売開始時間が計画よりも1時間遅れた上に、雨天のため、用意した展示物をすべて張ることができず、十分に活動を紹介できませんでした。また、雨の合間に販売を行ったことから、実際の販売時間も2時間程度であり、売上は当初の予定より少ない結果となりました。

しかしながら、荒天の中、人数は少ないながらも、熱心に、生徒の話を聞き、展示物を見て行く方がいました。岩見沢での販売会とは違い、札幌市内、道内の方に加え、外国の方、道外からの観光客等も訪れ、広くこの活動を知っていただく機会となりました。

## ⑧ 大和タウンプラザ（メイン）物産販売会

8月23日（日）

大和タウンプラザビックハウス前で行ったメイン販売会は、東北の物産、3県で11品目を販売しました。また、「東北の今」というテーマで被災地の状況を考えるための展示をしました。これを、4校で分担して行いました。その結果、私たちが予想した以上に多くのお客様が足を運んでくださり、完売することができました。

### 《 準備 》



《販売開始》



《その他》



## ⑨ 「東北の今を考えるパネル展」

10月5日(月)～10月13日(火)市民文化会館

このパネル展の取り組みは、被災地の現状について考えてもらう目的があります。

# 東北の今を考えるパネル展

## 第4回 復興支援 東北の物産販売

### 高校生プロジェクト in 岩見沢

- ・岩見沢農業高等学校ボランティア・ユネスコ部
- ・岩見沢緑陵高等学校ボランティア部
- ・岩見沢東高等学校ボランティア部
- ・岩見沢高等養護学校生徒会執行部

平成27年10月5日(月)～10月13日(火)

東日本大震災の復興支援を目的に、被災地（岩手、宮城、福島）より提供いただいた過去3年の写真パネル展です。

### ☆ 展示のための写真を提供していただいた団体一覧

	岩手県	宮城県	福島県	原発事故・他
第2回	大槌みらい新聞	3がつ11にちを わすれない ためのセンター (八幡町)	新地町役場 企画振興課	浪江町役場 生活支援課 避難生活支援係
第3回	釜石市総務企画部 広聴広報課 宮古市総務企画部 企画課 山田町役場総務課 情報係	名取市 総務部 震災記録室	いわき市 行政経営部 ふるさと発信課	原発事故に関わる 画像 (個人ボランティア)
第4回	岩手県遠野市役所 防災危機管理課	宮城県 防災砂防課	福島県広報課	朝日新聞社 CSR推進部

## 《準備》



## 《会場設営》

